

夏期実施プログラム



オンラインインターンシップ

対象：4年大学生・短大生

英語力：初級～上級 ※英語力不問

日程：2022年8月9日(火)～8月12日(金)及び
2022年8月16日(火)～8月19日(金)

研修期間：8日間

募集人数：最少催行人数 10名～ 最大人数 20名程度

参加費用：¥99,800 (税込)

(内訳 登録費用：¥20,000 /1名 プログラム費用：¥79,800 /1名)

ファシリテーション及びサポート：Japan Abroad Network Link Ltd.

・・・研修のポイント・・・

【オンラインインターンシップ内容】

ニューヨークに次ぎ北米で2番目の規模である Vancouver Fashion Week (VFW)

今回は VFW のマーケティング・企画開発を体験できるようなプログラム構成です。

英語を「学ぶ」だけでなく「使い」、企業が抱える課題は何かを考えていただきます。

もちろんマーケティングの知識は不要！英語力も不問！

ファシリテーターがしっかりと学生様のサポートをさせていただきます！

また、プリティッシュコロンビア大学の学生とも交流ができるチャンスです。現地の大学生は将来についてどのように考えているのか大学生活についての意見交流を行います。

☆プログラムのポイント☆

①実際のグローバルなビジネスシーンで起こりうる課題解決へのプロセス

実際に社会人になり課題解決をしていく時、単純に解決するのではなく様々なステップを踏んで成し遂げていく必要があります。目的までの課題設定や PDCA など基本的な戦略について学ぶことができます。

②他者と課題解決に向けて協力する力

社会人になるとチームで行動する機会が増えていきます。ミッションを成功させるためにはチームワーク力が不可欠です。こちらのインターンシップを通して社会人で活かせるスキルを身につけていただけます。

③目的を達成するために目標を立てて行動する力

何をするにも目標を立ててから行動することは大切です。結果や成果に繋がるまでにはしんどい事もありますが目標があるとないとではモチベーションの保ち方が変わってきます。研修を通してモチベーションの保ち方や目標を達成するまでに必要なスキルを学んでいただけます。

～JAPAN ABROAD NETWORK LINK LTD. (JAN-Link)の紹介～

今回、皆様のサポートをさせていただきます。2009年にカナダ・バンクーバーにて設立され、今まで1万人以上の方の留学をサポート！代表の佐藤様の話やアドバイスから「そういった考え方もあるのか！」など新たな発見が出来ること間違いなしです！今までも多くの生徒様のサポートをされているので大学生活ではなかなか得られない気づきを佐藤様から得られます！

マーケティング・企画開発インターン

2022年夏 大学合同開催

Global PBL Program 

プロジェクト型オンラインインターンシップ

1. はじめに

プログラムのココがポイント！



01

Vancouver Fashion Weekのマーケティング・企画開発を体験できる海外オンラインインターンシップ

- 北米ファッション業界を牽引するVancouver Fashion Weekの実際の仕事内容を体験
- 英語を“学ぶ”のではなく英語を“使い”ながら、実際のグローバルなビジネスシーンで起こりうる課題解決へのプロセスを実体験

02

初めてのインターンでも安心して参加可能なプログラム構成

- 業界知識やマーケティング・企画開発に関する知識は不要！
JAN-Linkのファシリテーションで徐々にレベルアップする3つのプロジェクトに挑戦しインターン経験を問わず、初めてでも安心して参加することができるプログラム構成
- ファッション業界のみならず、国や地域、あらゆる職業に共通して必要な課題解決へのプロセスや主体性を持って多様な価値観を持つ他者と協働するための手法やマインドセットを体感しながら習得

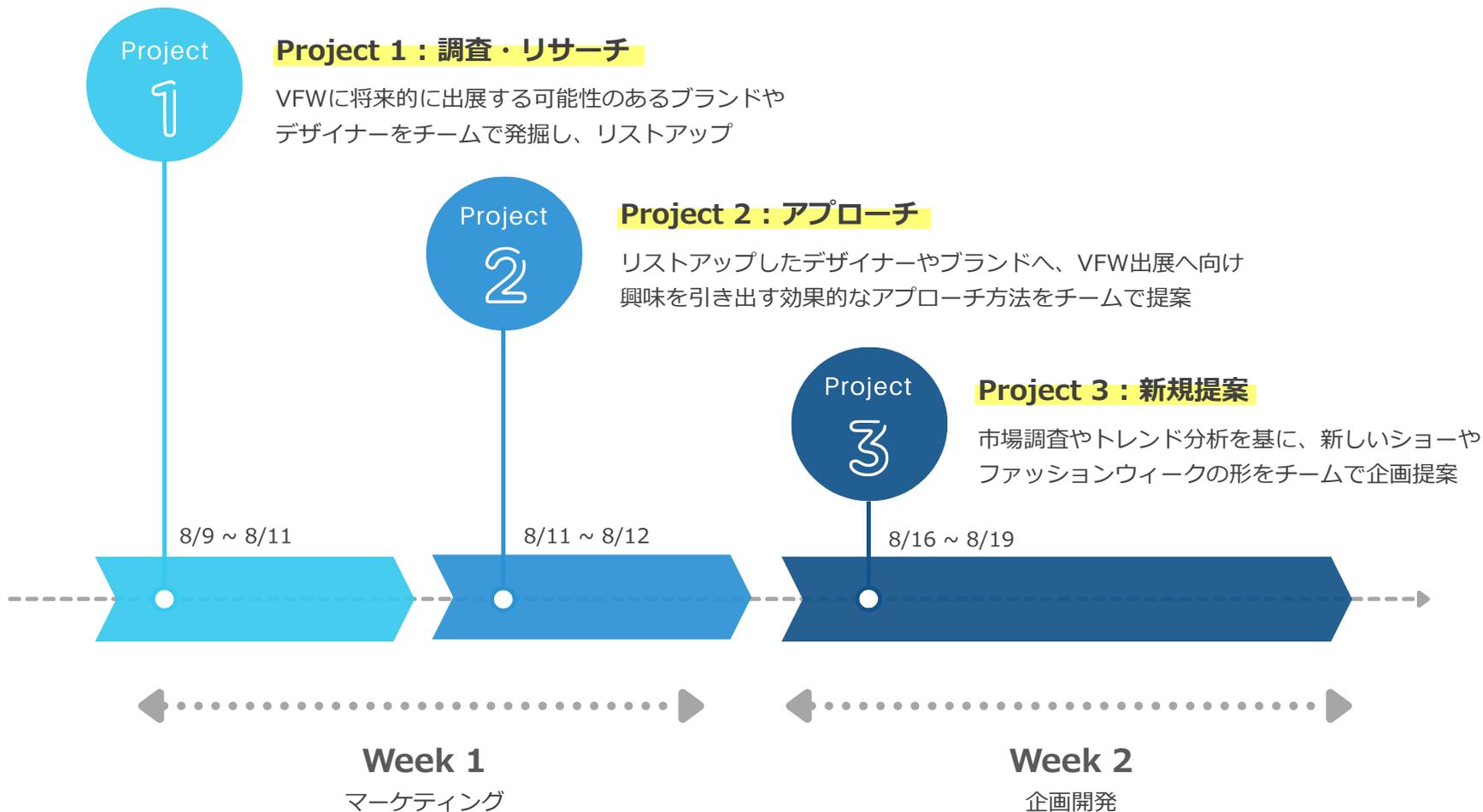
03

ブリティッシュコロンビア大学生と交流

- 日本人大学生4~5名に1名UBC大学生が参加し、お互いの大学生活を紹介するキャンパスライフツアーや将来の夢ディスカッションで、世界トップレベルの大学に通う大学生と交流・意見交換

2. 実践型インターンシップ：3つのProject

北米のファッションを牽引するVancouver Fashion Weekの
マーケティング・企画開発を体験できる、実践的なインターンシップに挑戦！



3-1. プログラム概要

1	期間 (日本時間)	2022年8月9日(火) ~ 8月12日(金) 及び 8月16日(火) ~ 8月19日(金)
2	開始時間 (日本時間)	9:00am
3	対象	・ 大学生 (学部・学年不問) ※短大生も参加可能 ・ 英語力不問
4	最少催行人数	10名 ~ 最大20名程度
5	ファシリテーション 及びサポート	Japan Abroad Network Link Ltd.
6	時間	・ ファシリテーターと共に活動する時間が2時間/日 ・ 午後のグループ及び個人の活動時間が2~3時間/日 ・ 希望者及び参加時間数に規定のある学生は追加で個別にリサーチ活動継続 及び報告 1~3時間/日
7	プログラム形式	・ 自宅から参加可能なZoomを使用したオンラインプログラム ・ Vancouver Fashion Weekの実際の仕事を体験することができる、 Week1はマーケティング、Week2は企画開発特化型のインターンシップ ・ Project1~3まで日本の大学生参加者でチームを結成し、成果発表やプレゼンは英語で行います ・ リフレクションや中間報告は基本日本語で行います

3-2. プログラム概要

8	1名あたりの費用 (GROSS料金)	¥99,800 (税込) (内訳 登録費用: ¥20,000 /1名 プログラム費用: ¥79,800 /1名)
9	お申込方法	<p>① 大学が指定する申込フォームを記入</p> <p>② 弊社より対象の学生様にメールにて弊社LINEアカウントの追加の案内メールを送ります。</p> <p>③ ラインアカウントより専用のお申込フォームをお送りいたしますのでご記入いただきます。</p> <p>④ お申し込みフォームの情報をもとに請求書をお送りさせていただきますので費用をお振込みいただきます。</p> <p>④ 着金確認ができたからお申込完了となります。</p> <p>※大学合同開催となり、お申込は先着順となりますので満席になる前にお早めにお申込ください</p>
10	お申し込み締め切り	<p>2022年6月21日 ※6月28日催行/不催行確定</p> <p>※一時締め切り後、催行確定でかつまだ枠に余裕がある場合はプログラム開始2週間前までを目安に追加でのお申込を承ることができます (別途お問い合わせください)</p>
11	お支払い期日	<p>上記のお申込フォームをいただいた日から起算して10日以内のお振込をお願いします。</p> <p>詳細の支払期日は請求書に記載して各学生にご案内いたします。</p>
12	キャンセルポリシー	<ul style="list-style-type: none">・登録費用返金不可・プログラム開始日前日から遡って30日以降に解約 30%・プログラム開始日前々日以降に解約 75%・開始日またはプログラム開始後に解約 100%

4. Vancouver Fashion Week 紹介

代表

Jamal Abdourahman

2001年に創設、北米のファッショントレンドを牽引

会社名

VFW Management Inc.

(通称 Vancouver Fashion Week / VFW)

公式Webサイト

<https://www.vanfashionweek.com/>

Fashion Week概要

- ・北米西海岸で最大級のファッションイベントを企画開催
- ・3月末（秋冬コレクション）、9月末（春夏コレクション）の毎年2回開催
- ・ファッションウィークには、25カ国以上、100名以上のデザイナー、メディア、バイヤーやセレブリティが集結
- ・前シーズンのファッションウィークの来場者数は22,000人
- ・日本を含め多くの国から新進気鋭のデザイナーの展覧があり、若手デザイナーの登竜門としても知られる

Jamal氏



5. スケジュール ※日本時間

		Week 1				Week 2			
		8/9 Tue	8/10 Wed	8/11 Thu	8/12 Fri	8/16 Tue	8/17 Wed	8/18 Thu	8/19 Fri
		オリエン							
		毎朝、前日に記入したワークシートを基にリフレクションからスタート							
9:00 -	特別GMD レクチャー	中間報告 ・進捗発表	Project1 プレゼン フィードバック	グループワーク ・プレゼン準備	Project3発表 「新しいファッションショーやファッションウィークの形を企画提案しよう」	中間報告 ・アイデア発表	グループワーク ・プレゼン準備	Project3 プレゼン フィードバック	
	VFW 会社紹介					UBC大学生と キャンパス ライフ バーチャル ツアー(相互)			
10:00 -	Project1発表 「VFWに将来的に出展する可能性のあるブランドやデザイナーを発掘しリストアップしよう」	グループワーク ・リサーチ	Project2発表 「VFW出展打診へ向け、効果的なアプローチの方法を提案しよう」	Project2 プレゼン フィードバック	グループワーク ・行動計画作成 ・プレスト	UBC大学生と ディスカッション 「将来の夢・目標」	グループワーク ・資料/原稿改善 ・プレゼン練習	最終 リフレクション 修了式	
	10:50								
PM ※ファシリ 無し	Project1 グループワーク		Project2 グループワーク		Project3グループワーク		-		
	ワークシート記入	ワークシート記入	ワークシート記入	ワークシート記入	ワークシート記入	ワークシート記入	ワークシート記入	ワークシート記入	

7. ワークシート

行動計画及び実際の活動記録・目標管理・モチベーショングラフ・日報を オンラインで個別に共有

- ・チームだけでなく個別で状況や思いをワークシートを用いてファシリテーターと共有することで、チームや個人に
合わせてリフレクションでのフィードバックをより適切に行います

※サンプル（過去の類似オンラインプログラムで使用したワークシート一部切り取り）

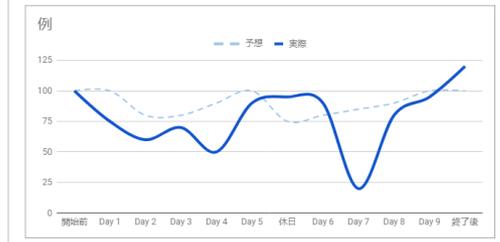
スケジュール + 行動計画

- ・毎朝9:00にZOOM集合となります
- ・午後はグループで課題に取り組みます。行動計画を下表に書き込みましょう。

※日本時間	WEEK 1					WEEK 2				
	Day 1 1 Feb MONDAY	Day 2 2 Feb TUESDAY	Day 3 3 Feb WEDNESDAY	Day 4 4 Feb THURSDAY	Day 5 5 Feb FRIDAY	Day 6 9 Feb TUESDAY	Day 7 10 Feb WEDNESDAY	Day 8 11 Feb THURSDAY	Day 9 12 Feb FRIDAY	
08:00										
08:30	9:00集合	9:00集合	9:00集合	9:00集合	9:00集合	9:00集合	9:00集合	9:00集合	9:00集合	
09:00	自己紹介	行動計画・ リサーチ手法発表	中間報告・ リフレクション	Mission 1 プレゼン	Mission 2 プレゼン	Mission 3 お題発表	中間報告・ リフレクション	海外の大学生と ディスカッション	Mission 3 プレゼン	
09:30	特別レクチャー	フィードバック・改善	フィードバック・改善	フィードバック	フィードバック	企業紹介・質疑応答	フィードバック・改善		フィードバック	
10:00		グループワーク	グループワーク	リフレクション	リフレクション		グループワーク	中間報告・ リフレクション	リフレクション	
10:30				Mission 2 お題発表	ゲストスピーカー講演 世界で活躍する日本人	行動計画作成		フィードバック・改善		
11:00	Mission 1 お題発表	10:30ファシリ終了 以降グループワーク	10:30ファシリ終了 以降グループワーク	行動計画作成		グループワーク		グループワーク	終了式	
11:30	行動計画作成				次週の予定確認	行動計画発表	11:00ファシリ終了 以降グループワーク			
12:00	12:00ファシリ終了 以降グループワーク			12:00ファシリ終了 以降グループワーク	12:00ファシリ終了 以降日報作成	12:00ファシリ終了 以降グループワーク		12:00ファシリ終了 以降グループワーク	12:00ファシリ終了 以降日報作成	
12:30										

モチベーショングラフ作成 & 自己分析

- 1 研修中の予想される自分のモチベーショングラフを描いてみましょう。
- 2 研修が始まったら、実際のモチベーションがどうだったか毎日記録しましょう。
- 3 研修が終わったら、自分がどんな時にモチベーションが上下するのか自己分析してみましょう。



Day 1

今日の自己採点をしてみよう

採点理由

/100点

振り返りの際には、

- ① 実際に自分や自分の周囲で起こったこと (事実)
 - ② その事実から自らの強で考えたことや感じたこと (感想)
- の2つを分けて考えましょう

事実 (起こったこと)

客観的
変えられないこと。
誰もがそうと言えること。

感想 (考えたこと)

主観的
変えられること。
自分の強の中であつたこと。

8-1. 先輩体験談

※類似プログラム参加者体験談

私は今回企業様からのミッションを受け、それに応じた情報を集め分析し、プレゼンテーションをするといった実に実践的な実習内容に大変興味を抱き本プログラムに応募させていただきました。。

正直実習初日は不安でいっぱいでした。外国語大学に通っているとはいえ、そこまで外国人の方と会話をする機会は私が所属する部活動（ESS）の時を除いてあまりありませんでした。

そのため本当に自分に街頭アンケートなどできるのか、英語でプレゼンテーションをすることができるのかと正直そんなことばかり思っていました。この時の私は本当にフィックスマインドセット的な思考でした。

もちろん大変なこともありましたが、メンバーと共にプレゼンテーションをやり切って今回の実習で本当に沢山の今後の自分のためになることを学ぶことが出来たように思います。ミッションを遂行する上で教えていただいたグロウスマインドセットやゼロベース思考、アクションプラン等はもちろんのことチームワークの大切さ、PDCAを短いスパンでも、長いスパンでも行うべきである事など本当に多くの身になることを教えていただきました。

それはもちろんなのですが、今回私にとって最も大きな学びとなったのは佐藤様がいつも私たちに向けてして下さったお話から得た気づきや人生における教訓とも言えるものです。佐藤様のお話はしっかり筋が通っていて自身の経験を交えてお話いただいたのでとても説得力があり、何度もなるほどなあとなんげと納得させられたり、そういう考え方もあるのか！と新たな気づきがありました。また、自分の好きな仕事をするためには目的をしっかりもちそれを成すための目標（アクションプラン）をしっかり立ててPDCAを回していかなくてははいけない。佐藤様から本当に多くのことを学ばせていただきました。

(Y.O.様、男性、大学2年生) ※原文そのまま



8-2. 先輩体験談

※類似プログラム参加者体験談

プログラムを通じて学んだこと

1. 将来の目標にたどり着くためにも、何かしらの物事を成し遂げるためにも行動計画を作成することが大切だということ
を学んだ。2. チームで物事に取り組む際にはお互いの状況を常に理解し合って、積極的に協力することが必要なのに加え、
協調性を高めることによって仲間と絆を作ることができることと知った。3. 一つの視点からだけでなく、物事をつがった角度
や客観的に見ることも重要だと学んだ。



この経験を今後どう活かしたいか

1. 自分の将来のゴールに効率的に近づくために細かい行動計画を作成していきたい。2. 今後の人生において一人ではなく
複数で一つの物事に取り組む機会は必ずあるので、協調性を意識しながら頑張っていきたい。3. 異なった文化や考えな
どを理解するために違った角度から見て見ることで理解力を高めたり、柔軟性を高めるために活用したい。



(K.E.様、女性、大学2年生)

8-3. 先輩体験談

※類似プログラム参加者体験談

プログラムを通じて学んだこと

(Y.E.様、女性、大学3年生)

今までは学校という縛られた世界でのプレゼンや視点を持って生活していましたが、実践的な環境に身を置くことでいかに学校と仕事との違いを認識しました。また、単純に課題を解決するというものの中にも様々な順序やステップを踏んで成し遂げるということ、目的までの課題設定やPDCAなどこれから生きていく中で基本的な戦略を学ぶことができました。可能性というのは自分の周りにはたくさんあるけど、それを実際に最大限に利用することや自分でやってみるということは、口で言うのは簡単だけど実際に取り組むことが難しいと感じましたが、とりあえず挑戦してみる、モチベーションの観点から見ても何かをする前はいつも不安や面倒などの気持ちがあるが、終わった後には結果や成果につながるということを意識してたくさん経験することの大切さを学びました。やはり頭で理解することは簡単ですが、それをいかに人を使って、協力して成し遂げるか、チームを引っ張っていくには自分がどう変わらないといけないのかなども学べたので本当に良かったです。

この経験を今後どう活かしたいか

今までは将来の具体的なビジョンや何に興味があるかなど、霧がかかったように曖昧なものでしたが、今回の研修を通して自分はどんなことが得意でどんなことが好きで何が苦手なのかなど様々な発見があったので、その発見を実際に行動していかないといけないと思いました。なので、これから様々な困難に出会うと思いますが、今回の研修を通して学んだgrowth mindsetの精神と、自分目線で考えるかつ相手に貢献しようという姿勢をもち、より柔軟に課題に対してアプローチしていけたらと考えています。どうしても自分で考えると一方通行な発想や、自分に与えられた責任を果たすために作業するという傾向があると思うので、そこをいかに依頼者目線で第三者目線で考え、自分の思い込みというものを壊していけたらと思います。また今回で学んだ内容は一生役に立ったりこれからの成長の基礎になると思うのでこれらを活かして次の世代やこれから同じ壁にぶつかる人への助けになるように自分で経験して伝えていけるようになったらうれしいと思います。

8-4. 先輩体験談

※類似プログラム参加者体験談

プログラムを通じて学んだこと

①困難にぶつかっても、チームで乗り越えるために努力すること②目的を達成するために目標を立てて行動する③自分と相手では気持ちの面でギャップが生まれている。(1) 助けてほしい、頼りたいけど勇気がでない。しかし相手側は助けたいと思っている、チカラになりたいと思っている(2) 自分を卑下し、自分を否定的に見ている。他方、相手は全く自分を見下してもいないし、馬鹿にしていない

この経験を今後どう活かしたいか

以上の学びを、社会人で活かしていきたい。会社規模で考えると、チームメンバーの数も増えると思うしより一層困難な壁にぶち当たると思う。しかし、もう私は解決方法を学んでいる。困難にぶち当たるたびにPDCAを回し目標を立てて行動する。何か困ったら迷わず誰かに助けてと言ひ、頼ることに恥らいを捨てる。そして私はインターンシップで経験した「チームの絆」を会社で生み出し、理想の働き方を実現させる。おのずと結果もついてくると思う。

(N.S.様、女性、大学4年生)

プログラムを通じて学んだこと

コミュニケーションの大切さ、専門知識をたくさん学ぶ事ができました。私は協調性が強みだったので人の話を聞いてまとめたりするのが好きなのですが、状況把握を完璧にし適切な質問をする事で相手に気づかせるような協調の仕方もあるんだなあと気付かされました。一人一人個性があるのでどうすれば話がまとまるのか相手のことも考えないとチームワークは成立しないんだなと学ぶ事ができました。パワーポイントの構成などを知っていくうちにとてもビジネスでの順序などに興味を持つ事ができました。

この経験を今後どう活かしたいか

今回勉強したことにあまり興味がなく勉強してこなかったのですが、こんなに楽しいんだと気付いたので、もっと勉強したいと思いました。プレゼンテーションをどうやったら成功するのか、どうしたらうまくチームワークが回るのか常に考えていたのでこのまま考える力が衰えないように、全てのことに疑問を持ったり自分の意見をしっかり持って行こうと思いました。また、何かをする時にPDCAを心がけて将来のことを見ていこうと思います。

(K.G.様、男性、大学3年生)

9. JAN-Link / UBC について

JAPAN ABROAD NETWORK LINK LTD. (JAN-Link)

- ・2009年にカナダ・バンクーバーにて設立、留学サポート人数延べ1万人以上
- ・カナダ政府認定移民コンサルタント在籍
- ・カナダ / アメリカ / フィリピン / オーストラリア現地研修企画運営実績に基づきオンラインプログラムを拡大中

主な事業内容

- ・教育旅行・海外研修企画運営
- ・単位認定留学(高校・大学)
- ・カナダビザコンサル・ビザ申請サポート
- ・海外の高校との姉妹校提携
- ・留学手続き・現地サポート(未成年～社会人)
- ・大学間MOU締結
- ・オンライン留学プログラム
- ・海外インターンシップ
- ・企業海外研修



代表 佐藤 潤

ブリティッシュコロンビア大学 (UBC)

- ・延べ5万人が学ぶ西部カナダ最大の総合大学
- ・現首相ジャスティントルドーを始め、歴代4名のカナダ首相や7名のノーベル賞受賞者を輩出するなど国際的に知名度が高い
- ・2020THE世界大学ランキング34位 (東京大学は46位)
- ・バンクーバーとオカナガンに2つのキャンパスを所有しメインキャンパスであるポイントグレーキャンパスは402ヘクタールと東京ドームの約85倍の敷地をもつ

